

とうきょう すくわくプログラム活動報告書〈令和7年度〉

法人名	社会福祉法人 崇仁会
施設名	北沢みこころ保育園
所在	世田谷区北沢 4-16-6
クラス	めばえ組 0歳児

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

色々な感触に出会おう～寒天遊び～

〈テーマの設定理由〉

0歳児クラスのお友だちはまだ触れたことのない、出会ったことのない感触がたくさんあります。そんな初めての瞬間に、子どもたちがどんな表情や反応を見てくれるのか、そんな瞬間にスポットを当ててみました。

2. 活動スケジュール

- ・7月から水遊びが始まり、水の冷たさや感触を楽しみながら保育室でもウォーターベットや梱包材のプチプチ、風船や小麦粉粘土など色々な感触を日々楽しみました。
- ・7月29日(火)0歳児5名。水遊びスペースで寒天遊びを行いました。

3. 活動のために準備した素材や道具

- ・寒天(固い)、ゼラチン(柔らかい)を固めた物(赤・黄・青の食紅で色を付けます。)
- ・机
- ・カップ

4. 環境設定及び配慮事項

- ・普段水遊びを行っている慣れた環境で行う。
- ・感触遊びが苦手な子もいることが予想されるので、普段より玩具やタライの数を減らした環境で並行して水遊びの準備もしておく。
- ・子どもが立って遊べる高さの机を用意する。
- ・口に入れたりしないように注意深く見守る。

5. 探究活動の実践

《活動内容》

- ・作っておいた寒天を、冷たい感触も感じることが出来るように、活動ギリギリまで冷蔵庫で冷やしておいた。室内でタッパーに入った寒天に手で触り、冷たい感触を体感しながら、寒天遊びへの期待を膨らませる。
- ・子どもたちが握りやすい大きさにした寒天を机の上に広げ、保育者と一緒に感触遊びをする。

《活動中の子どもの姿や声・保育者との関わり》

最初は綺麗な色や初めての物に誘われ、机の周りに集まり始めた子どもたち。少し離れたところから様子を伺う子どももいました。さっそく指先でチョンと触り、眉間にしわを寄せながら「なんだろう?」という表情を見せていました。「きゃあ!」と嬉しそうに声を出すなど様々な反応を見せてくれました。保育者が寒天を手の上に乗せると握り始める子どもたち。手の中でぐにゅっとなる感触を楽しみました。その後、保育者も一緒に寒天を手で握り感触を楽しみ、机の上で手を大きく動かし、寒天を混ぜるとそれを真似する子もいました。気がつくと寒天の色も混ざり始め、光の加減もありキラキラと光って見えました。後半には、カップなども用意すると、カップに寒天を入れて、保育者に「はい!」と寒天をプレゼントしてくれました。途中水遊びに移行する子もいる中、長い子では10分以上寒天遊びを楽しむ子もいました。



6. 振り返り

- ・寒天の感触を嫌がる様子もなく、興味を持ち寒天遊びに参加していた。0歳児なのですぐに飽きてしまうことも予想していたが、長い時間寒天を触り、感触遊びを楽しんでいた。
- ・固い感触の寒天よりも柔らかいゼラチンの方が0歳児には握りやすかったようだった。
- ・友だちや保育者の遊ぶ様子を見ながら他の子どもたちの遊びも広がっていったように感じた。十分に感触を楽しんだ後に、カップなど普段遊び慣れているアイテムを用意することで、また遊びが変わっていった。
- ・思ったことを口にすることは難しい年齢だが、表情や啞語、指差し等で感触や思いが伝わってきた。
- ・子どもの気付きや発見を側で見守り、思いを代弁し共感していく中で、保育者が一緒に楽しみながら遊ぶことで、一緒にやってみようと思いつきを持ち感触を楽しむことができた。
- ・苦手だろうと予想していた子が大胆に遊んだり、普段大胆に遊ぶ子が慎重になっていたりと、意外な一面も見られて、新たな発見だった。